

# [XAMPP版] 監視モニター

機能追加

リソースグラフ機能  
プロットグラフ機能

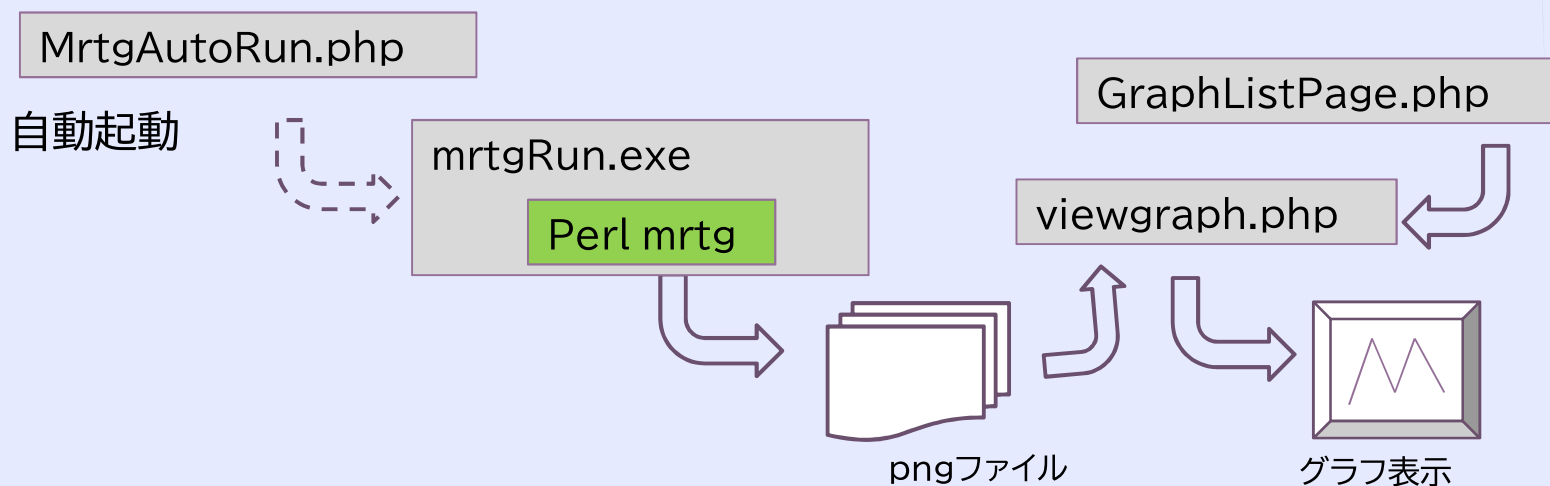
---

# リソースグラフ機能

## 1 概要

### ○ リソースグラフの動作プログラム

MrtgAutoRun.php	自動起動でmrtgRun.exeを呼び出す
mrtgRun.exe	perl mrtgでSNMPエージェントのCPU, RAM, DISKのデータを取得する
GraphListPage.php	随時メニューから起動し表示グラフエージェントホストを選択する
viewgraph.php	選択されたエージェントホストのグラフを表示する



### ○ データ取得プログラム

CPU負荷率	snmpcpuload.exe
メモリ使用率	snmpramload.exe
ディスク使用率	snmpdiskload.exe

# リソースグラフ機能

## 2. 初期設定

- vmsetup¥kanshiphp.iniに下記項目追加  
**vpath\_mrtgbase=<vpath\_mrtghome>**注  
注:vpath\_mrtghomeは、newmrtg.cfgが存在するディレクトリ  
監視アプリではmrtg.cfgをnewmrtg.cfgとして使用  
**vpath\_mrtg=mrtg.exe**のパス

## 3. データ収集・グラフ作成

- MrtgAutoRun.phpのリフレッシュ間隔で収集する  
リフレッシュ間隔はモニターインターバル  
参考:perl mrtgをタスクスケジューラで行うことも可能
- グラフは約30時間分のデータを扱う

## 4. グラフ表示

- メニュー「リソースグラフ」で対象ホストを選択し、「グラフ作成」をクリックする

# リソースグラフ機能

## 5. グラフ操作

### 5.1 グラフを作成登録する

- メニュー「リソースグラフ」選択、グラフ未登録のホストを選択、「グラフ登録」をクリック

図 5.1.1 グラフ登録

php ▼ グラフホスト一覧 ▼

☆ホストを1つ選択して「グラフ表示/メール添付」「グラフ登録」「グラフ削除」のいずれかをクリックする  
☆グラフのメール添付には、ホストのメール「自動送信」が必要です

ホスト	グラフ種類	表示名	状態
<input checked="" type="radio"/> 192.168.1.19	CPU;RAM;Disk	linuxsnmp	グラフ未登録
<input type="radio"/> 192.168.1.155	CPU;RAM;Disk	winsnmp	グラフ未登録

グラフ表示メール添付      **グラフ登録**      グラフ削除

- MRTGグラフデータの収集間隔は、メニュー「管理情報」の監視間隔(秒)で変更可能

図 5.1.2 起動間隔

監視ホスト追加

監視ホスト修正

**管理情報**

ヘッダ情報

サーバー画像管理

監視間隔      SNMP間隔

120      30

送信先

mailuser@mydomain.jp



# リソースグラフ機能

## 5.2 グラフを表示、メール添付する

- メニュー「リソースグラフ」選択、表示/メール添付するホストを選択、「グラフ表示/メール添付」をクリック

図 5.2.1 グラフ表示

表示メニュー

- 監視モニター
- イベントログ
- イベントメモ
- SNMP監視結果**
- リソースグラフ
- プロットグラフ

設定メニュー

php ▼ グラフホスト一覧 ▼

☆ホストを1つ選択して「グラフ表示/メール添付」「グラフ登録」「グラフ削除」のいずれかをクリックする  
☆グラフのメール添付には、ホストのメール「自動送信」が必要です

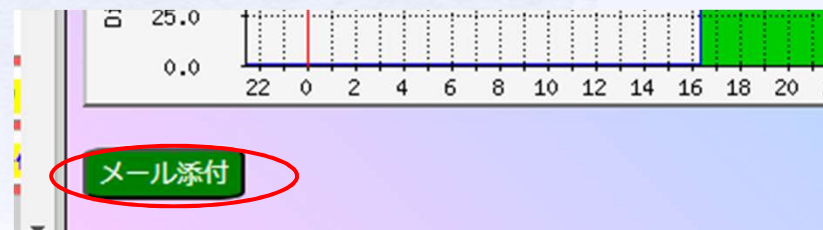
ホスト	グラフ種類	表示名	状態
<input checked="" type="radio"/> 192.168.1.19	CPU;RAM;Disk	linuxsnmp	グラフ未登録
<input type="radio"/> 192.168.1.155	CPU;RAM;Disk	winsnmp	グラフ未登録

**グラフ表示/メール添付**    **グラフ登録**    **グラフ削除**

図 5.2.2 MRTGグラフ



図 5.2.3 MRTGグラフメール送信



- メールに画像を添付して送信する  
但し、ホスト情報のメールが「自動送信」であること

# プロットグラフ機能

## 1. 概要

### ○ プロットグラフの動作プログラム

MrtgAutoRun.php

plotgraph.exe

GraphListPlotPage.php

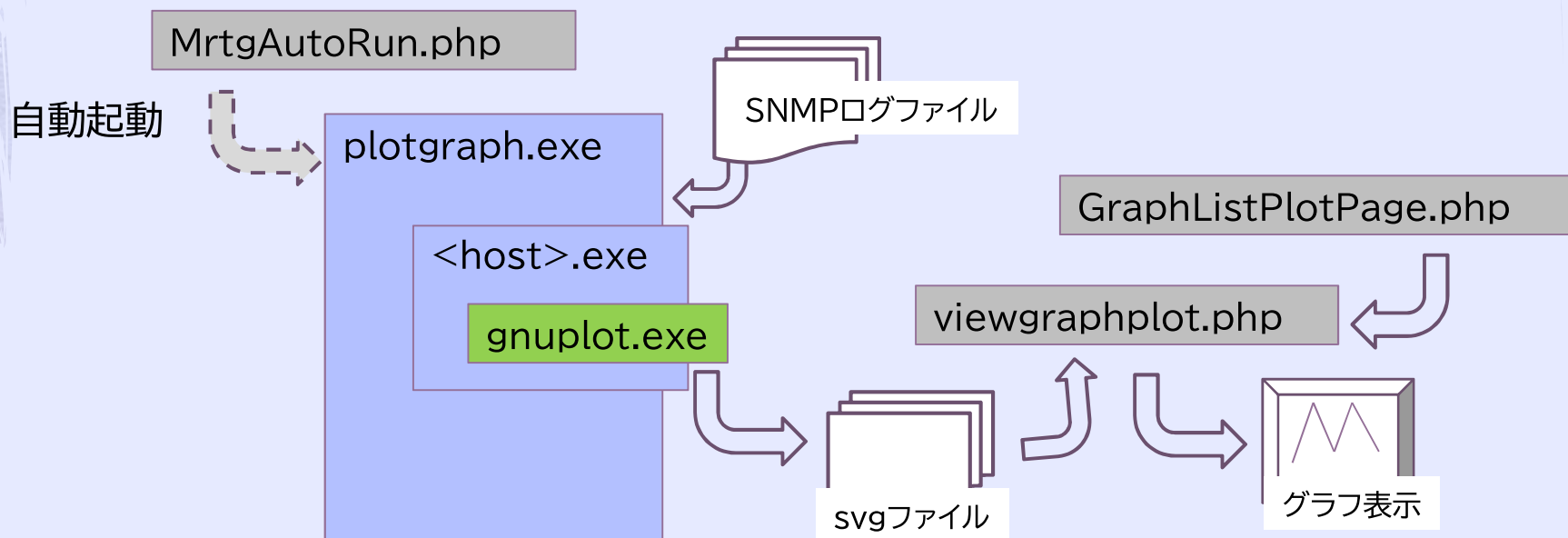
viewgraphplot.php

自動でplotgraph.exeを呼び出す

SNMPログからCPU,RAM,DISKのデータを取得する

随時メニューから起動し表示グラフエージェントホストを選択する

選択されたエージェントホストのグラフを表示する



# プロットグラフ機能

## 2. 初期設定

- vmsetup¥kanshiphp.iniに下記項目追加  
**vpath\_gnuplot=gnuplot.exeのパス**

## 3. データ収集・グラフ作成

- MrtgAutoRun.phpのリフレッシュ間隔で収集する  
リフレッシュ間隔はモニターインターバル  
参考: plotgraph.exeをタスクスケジューラで行うことも可能
- グラフは約30時間分のデータを扱う

## 4. グラフ表示

- メニュー「プロットグラフ」で対象ホストを選択し、「グラフ作成」をクリックする

# プロットグラフ機能

## 5. グラフ操作

### 5.1 グラフを表示、メール添付する

○ メニュー「プロットグラフ」選択、表示／添付するホストを選択、「グラフ表示／メール添付」をクリック

図 5.1.1 プロットグラフ表示

表示メニュー

- 監視モニター
- イベントログ
- イベントメモ
- SNMP監視結果
- リソースグラフ
- プロットグラフ**

設定メニュー

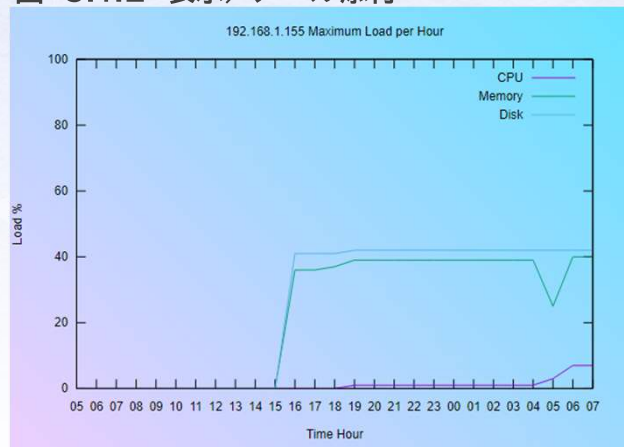
php ▼ プロットグラフホスト一覧 ▼

☆ホストを1つ選択して「グラフ表示／メール添付」をクリックする  
☆グラフのメール添付には、ホストのメール「自動送信」が必要

	ホスト	グラフ種類	表示名	状態
<input checked="" type="radio"/>	192.168.1.19	CPU;RAM;Disk	linuxsnmp	グラフ作成中
<input type="radio"/>	192.168.1.155	CPU;RAM;Disk	winsnmp	グラフ作成中

**グラフ表示/メール添付**

図 5.1.2 表示／メール添付



○ メール添付する場合は、「メール添付」をクリック



# プロットグラフ機能概

## 6 その他

○ <host.exe>の引数

‘path=“<vpath\_plathome>¥¥plotimage¥¥”,ghost=“<host>”’

○ mkplot.plt

set title ghost.” Maximum Load per Hour”

set xlabel ”Time Hour”

set ylabel ”Load %”

set yrange [0:100]

set size 1 , 0.9

set terminal svg

set output path.ghost.”.svg”

plot path.ghost.”.ok” using 2:xticlabels(1) with lines title ”CPU”,

path.ghost.”.ok” using 3 with lines title ”Memory”,

path.ghost.”.ok” using 4 with lines title ”Disk”

unset output

quit